



Ver21

As温度管理

※解説がオプションプログラムの内容である場合があります。ご了承ください。

目次

1. 入力専用ライセンス	1
1-1 入力専用ライセンスの使用方法	1
1-2 入力専用ライセンスでEX-TREND武蔵を起動する	3
1-3 入力専用ライセンスの終了	4
2. インデックス	5
2-1 インデックスを起動する	5
2-2 自社情報の入力	6
2-3 インデックスの画面構成	7
2-4 新規に工事を作成する	8
2-5 工事データを開く/閉じる	10
2-6 工事データのバックアップ/リストア	11
2-7 各種設定のバックアップ/リストア	15
3. 測定データの入力	18
3-1 アスファルト温度管理の起動	18
3-2 分類の追加	19
3-3 測定項目の条件確認	20
3-4 台数の作成	22
3-5 測定項目の入力	24
4. 成果の確認・編集	27
5. 成果の印刷	29
6. インデックスへの成果登録	30
7. 工事データの保存	32
7-1 工事データの保存	32
7-2 アスファルト温度管理の終了	32

1

入力専用ライセンス

EX-TREND武蔵を起動するには、プロテクトキー（ネット認証ライセンスやUSBプロテクト）が必要になります。

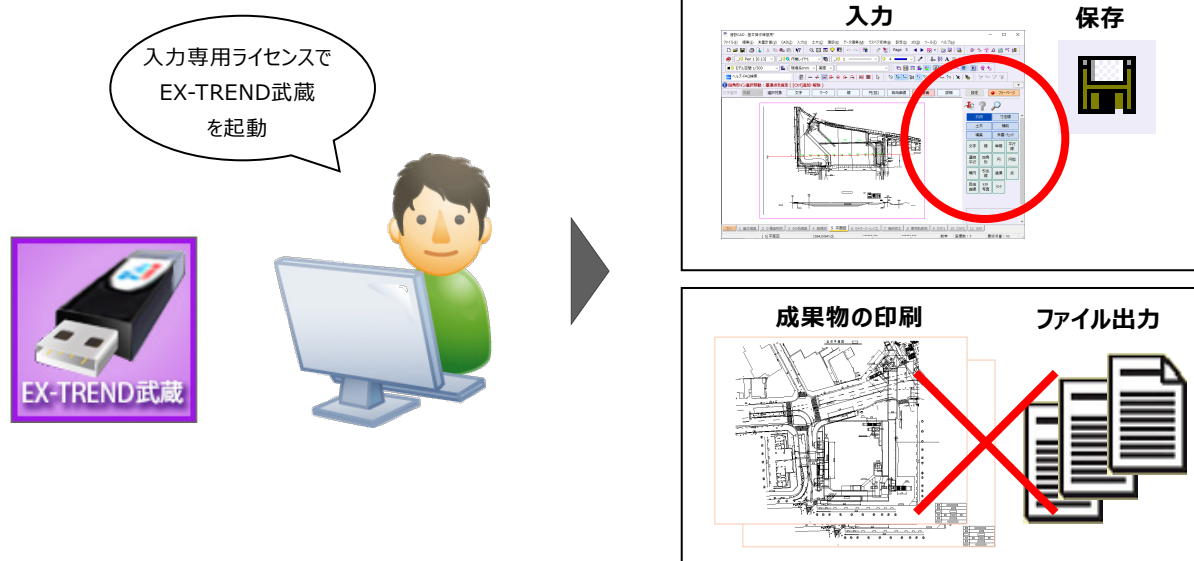
ネット認証ライセンス

USBプロテクト



ほかの方がプロテクトキーを使用中で空きがないときでも「入力専用ライセンス」を利用することで、EX-TREND武蔵を起動して作業することができます。

ただし、「入力専用ライセンス」で起動しているときには、データの入力や保存は可能ですが、成果物の印刷やファイルの出力ができませんのでご注意ください。



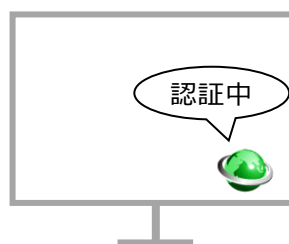
ここでは、「入力専用ライセンス」の使用方法と、起動・終了方法について説明します。

1-1 入力専用ライセンスの使用方法

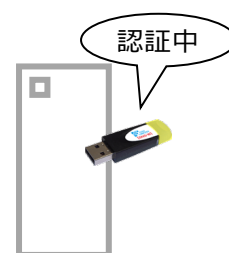
入力専用ライセンスを使用するために、親となるネット認証ライセンスやUSBプロテクトからライセンス情報を取得します。ライセンス情報の取得をおこなうには、ネット認証ライセンスを認証する必要があります。（USBプロテクトの場合はパソコンに装着する必要があります。）

- 1 ネット認証ライセンスの認証、または USB プロテクトの装着をおこないます。

1 ネット認証ライセンスの場合



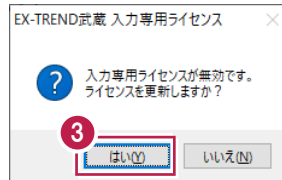
USBプロテクトの場合



② [入力専用ライセンス] をダブルクリックします。

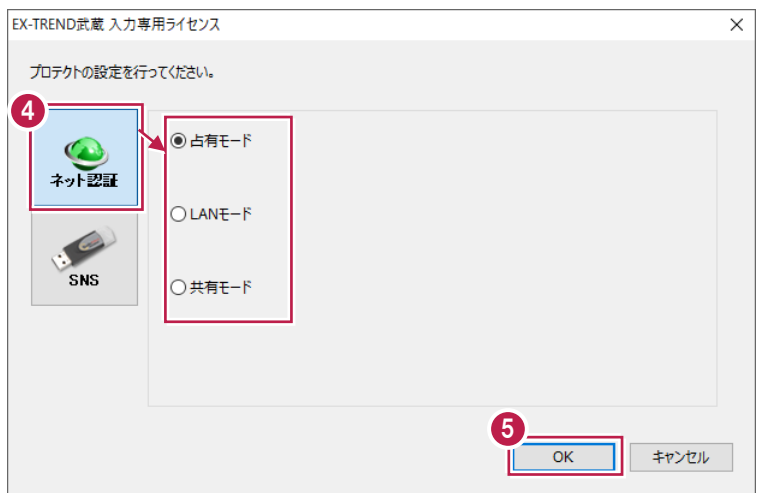


③ [はい] をクリックします。

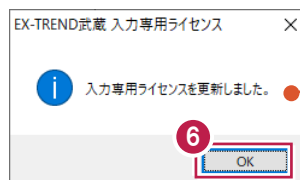


④ 取得するライセンスの種類を選択します。
(右の例は、ネット認証ライセンスの占有モード
を利用している場合です。)

⑤ [OK] をクリックします。

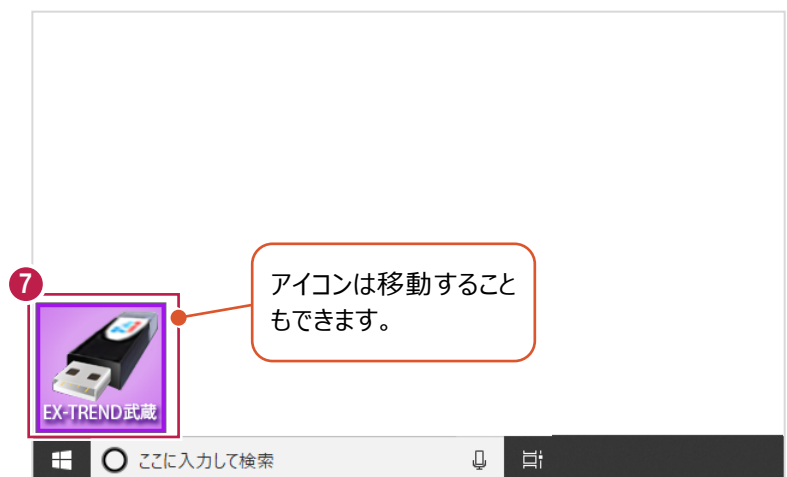


⑥ [OK] をクリックします。



ライセンス情報の取得が完了したら、
ネット認証ライセンスの解除や
USBプロテクトの取り外しをおこ
なっても構いません。

⑦ デスクトップ左下に、入力専用ライセンス
起動中のアイコンが表示されたことを確認しま
す。



1-2 入力専用ライセンスでEX-TREND武蔵を起動する

入力専用ライセンスを起動し、[EX-TREND武蔵 インデックス] を起動します。

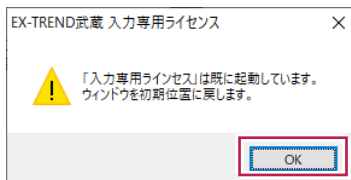
※はじめて入力専用ライセンスを使用する場合は、「1-1 入力専用ライセンスの使用方法」を確認してください。

- ① [入力専用ライセンス] をダブルクリックします。

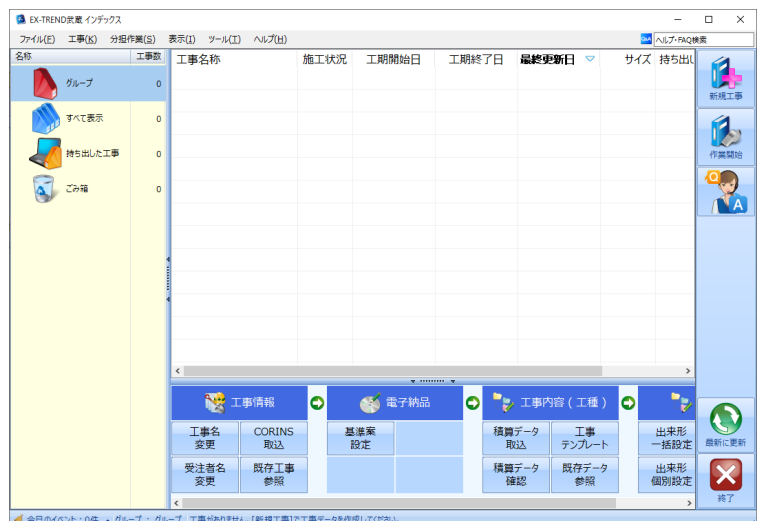


- ② デスクトップ左下に、入力専用ライセンス起動中のアイコンが表示されたことを確認します。

すでに入力専用ライセンスが起動中の場合は、以下のメッセージが表示されますので [OK] をクリックしてください。



- ③ [EX-TREND 武蔵 インデックス] をダブルクリックします。



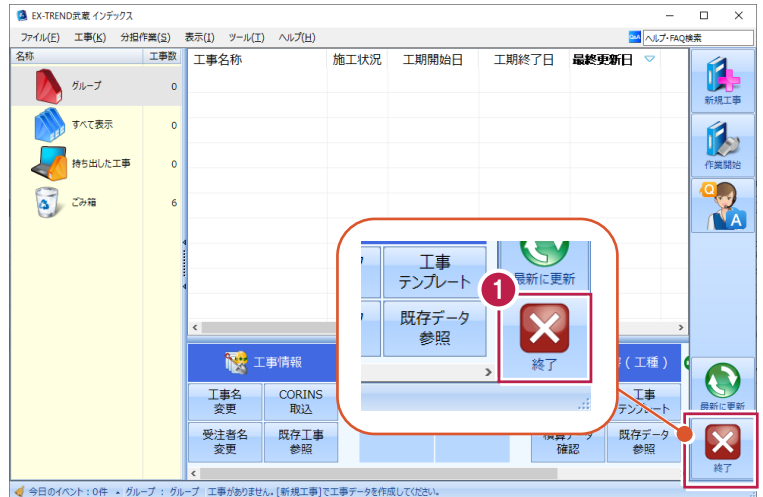
1-3 入力専用ライセンスの終了

入力専用ライセンスは、ネット認証ライセンスおよびUSBプロテクトとの同時利用ができません。

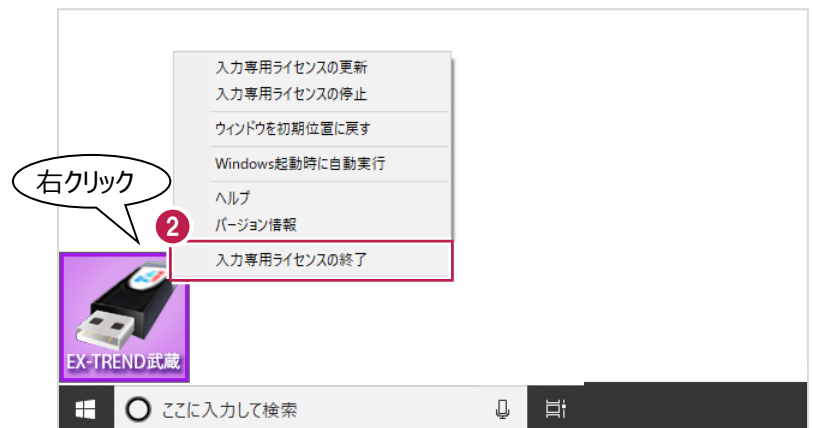
例えば、「ネット認証ライセンス」を認証している状態でも「入力専用ライセンス」を起動している場合は、「入力専用ライセンス」が優先され、印刷や出力などができなくなります。

ここでは、入力専用ライセンスの終了方法を説明します。

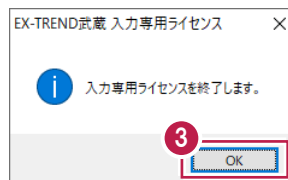
- 1 EX-TREND 武蔵を起動している場合は、
[終了] をクリックします。



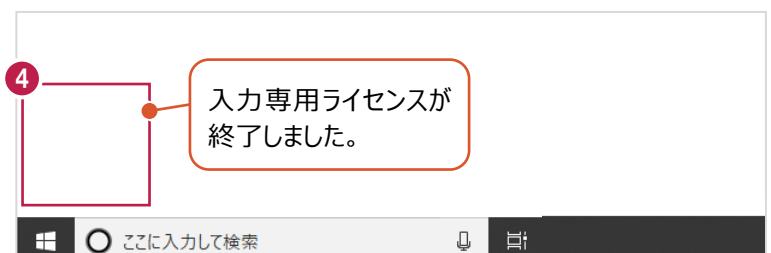
- 2 入力専用ライセンス起動中のアイコンを
右クリックし、[入力専用ライセンスの終了] を
クリックします。



- 3 [OK] をクリックします。



- 4 入力専用ライセンス起動中のアイコンがなくなっ
たことを確認します。



2

インデックス

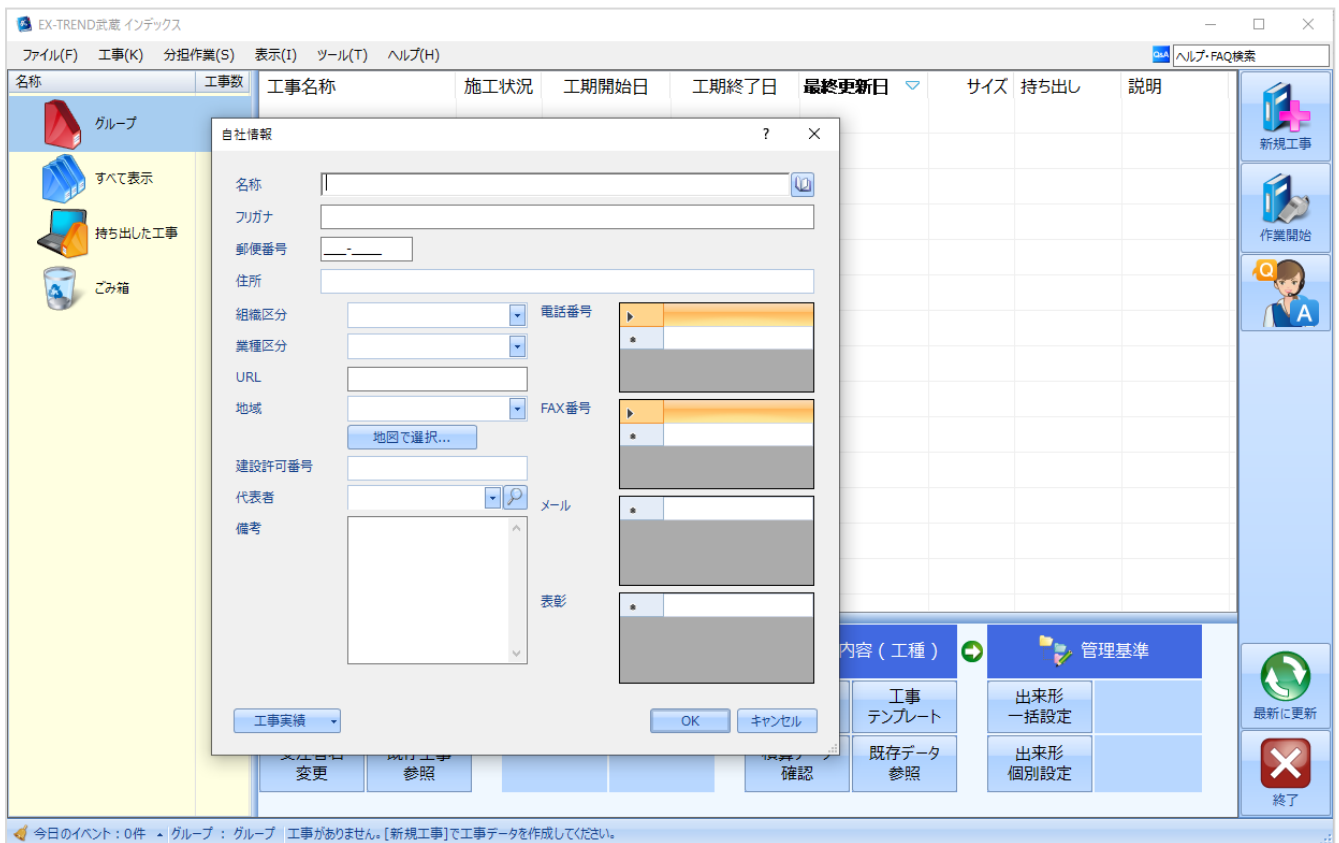
EX-TREND武蔵のデータは、[EX-TREND武蔵 インデックス] で工事ごとに管理します。

ここでは、インデックスを起動し、自社情報の入力、工事データの新規作成、バックアップの方法などについて説明します。

2-1 インデックスを起動する

[EX-TREND武蔵 インデックス] を起動します。

- 1 [EX-TREND 武蔵 インデックス] をダブルクリックします。



2-2 自社情報の入力

インデックス起動時に表示される自社情報を入力します。

- 1 名称（会社名）や住所、電話番号、地域などを入力します。

自社情報で入力した内容は、各プログラムの共通の情報として連動します。

例えば、[地域] は電子納品の要領・基準案などの初期設定として反映されます。

- 2 [OK] をクリックします。

自社情報

1

名称 福井コンピュータ建設株式会社

フリガナ

郵便番号

住所

組織区分

業種区分

URL

地域 福井県

建設許可番号

代表者

備考

電話番号

FAX番号

メール

表彰

2

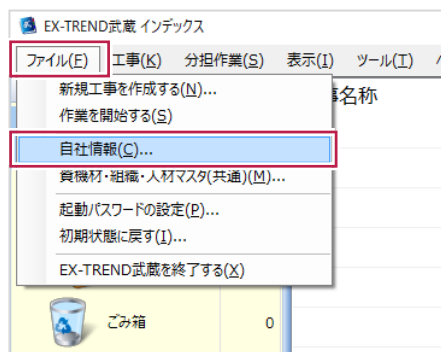
工事実績

OK

キャンセル

[キャンセル] で閉じた場合は、次回インデックス起動時に、自社情報ダイアログが再表示されます。

自社情報を編集する場合は、メニューバーの [ファイル] をクリックし、[自社情報] からおこなってください。



2-3 インデックスの画面構成

インデックスの画面回りを説明します。



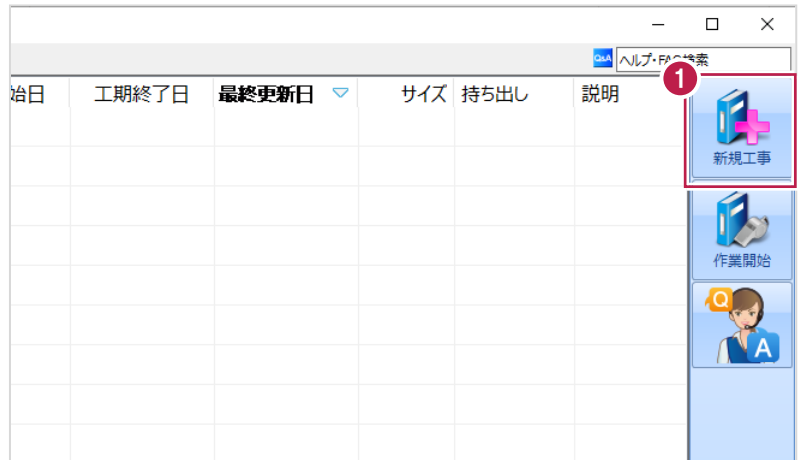
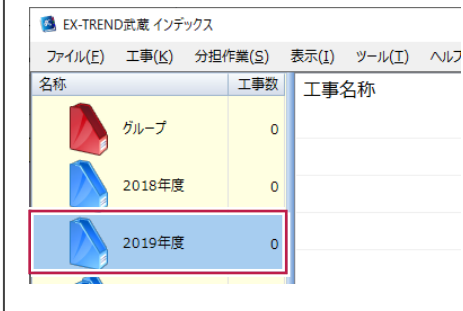
<p>① グループ一覧</p>	<p>工事をグループごとに管理します。グループは 5 階層まで作成可能です。右クリックして表示されるポップアップメニューで、追加・編集・削除できます。グループを選択すると、所属する工事が【工事一覧】に表示されます。</p>
<p>② 工事一覧</p>	<p>【グループ一覧】で選択中のグループ内の工事を一覧表示します。【表示】 - 【工事の表示方法】で、表示方法の切り替えができます。</p>
<p>③ アイコンバー</p>	<p>【新規工事】【作業開始】【QA】【最新に更新】【終了】のアイコンを表示します。【QA】では、お困りごとを検索することができます。</p>
<p>④ 工事の編集パネル</p>	<p>【工事情報】【電子納品】【工事内容（工種）】【管理基準】を編集するコマンドが用意されています。</p>
<p>⑤ ステータスバー</p>	<p>スケジュールに入力したイベントや、工事データの保存先などを表示します。</p>

2-4 新規に工事を作成する

[新規工事] の [新しく工事を作成する] で、新規に工事を作成します。

① [新規工事] をクリックします。

グループを分けて管理する場合は、今から作成するデータを保管するグループを選択した状態で [新規工事] をクリックしてください。（作成したあとにグループを移動することもできます。）



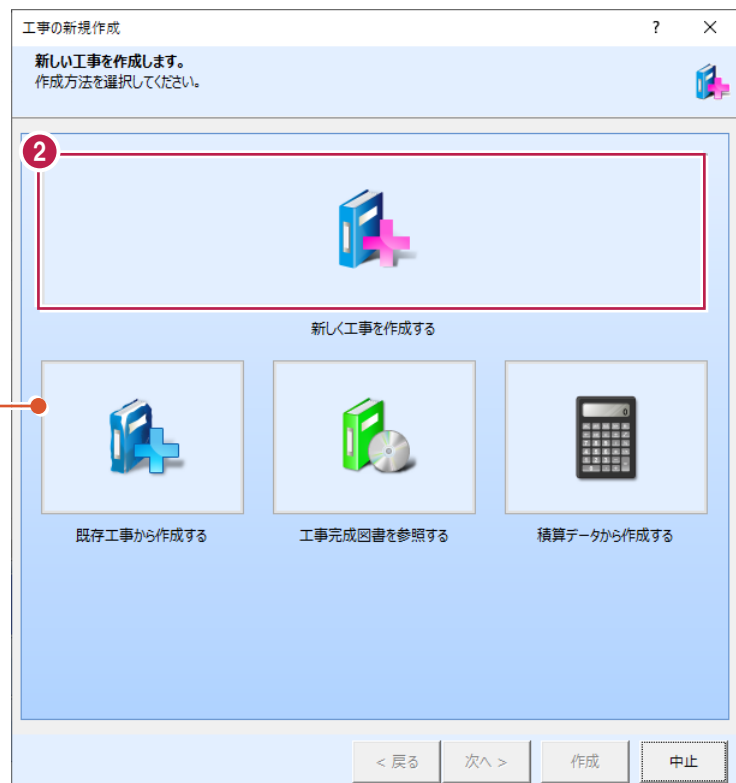
② [新しく工事を作成する] をクリックします。

その他の作成方法は以下です。

【既存工事から作成する】 :
毎年同じような工事がある場合などは、前年の既存工事を選択して作成してください。

【工事完成図書を参照する】 :
発注者からのデータや、以前の納品データなどがある場合に選択します。

【積算データから作成する】 :
積算データをお持ちの場合に選択します。（工事作成後に、積算データを読み込むことも可能です。）



- ③ [工事名称] を入力します。
(必要に応じて、他の項目も入力します。)

ここでは、「サンプル工事」と入力します。

- ④ [電子納品を行う] をオフにします。

電子納品をおこなう場合は、[電子納品を行う] をオンにし、[要領・基準案の選択] をクリックして設定をおこなってください。

- ⑤ [作成] をクリックします。

工事の新規作成

工事の基本情報を入力します。
工事名称を入力してください。それ以外は後からでも変更できます。

③ 工事名称 サンプル工事

発注年度 (西暦) 2019

工事番号

工事箇所

河川路線名等

工期開始・終了日 2019年 9月13日 ~ 2019年 9月13日

請負金額 0 円

工事内容

④ 電子納品を行う

要領・基準案の選択...

成果設定 出荷時設定 武蔵

CORINS読み込み...

新しい工事が作成できます
未入力の項目は後から編集できます

⑤ 作成 中止

工事名称などの情報を変更する場合は、工事データで右クリックし、[工事情報] をクリックしてください。

右クリック

工事名称	施工状況	工期開始日
サンプル工事	着工前	2019/09/13

- 作業開始
- 工事情報...
- 工事内容...
- 電子納品要領・基準案の選択...
- 分担作業の追加...

工事が作成されます。

EX-TREND武蔵 インデックス

ファイル(E) 工事(K) 分担作業(S) 表示(I) ツール(I) ヘルプ(H)

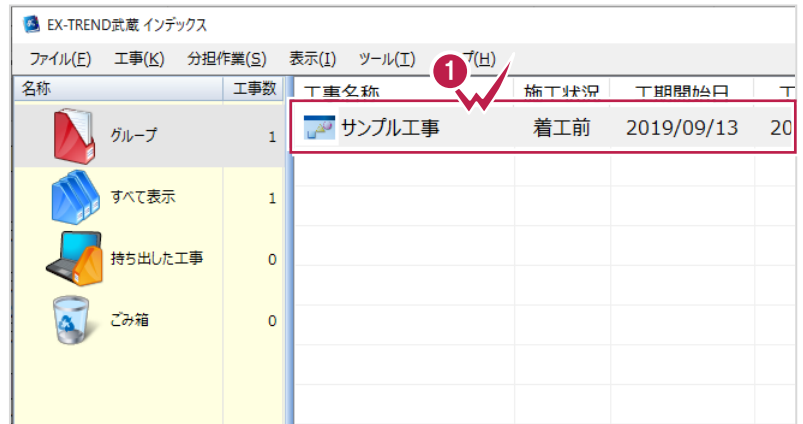
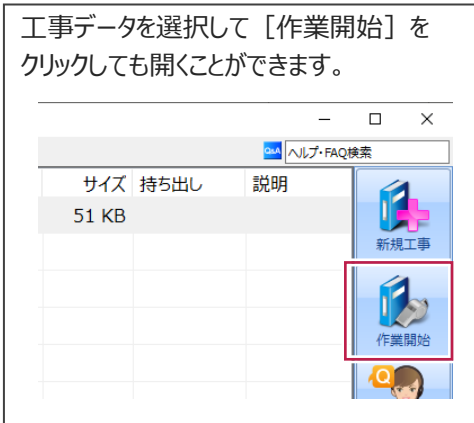
名称	工事数	工事名称	施工状況	工期開始日
グループ	1	サンプル工事	着工前	2019/09/13
すべて表示	1			
持ち出した工事	0			

2-5 工事データを開く/閉じる


工事データを開いて、武蔵データ画面を表示します。
また、工事データを閉じ、工事一覧画面へ戻る操作を説明します。

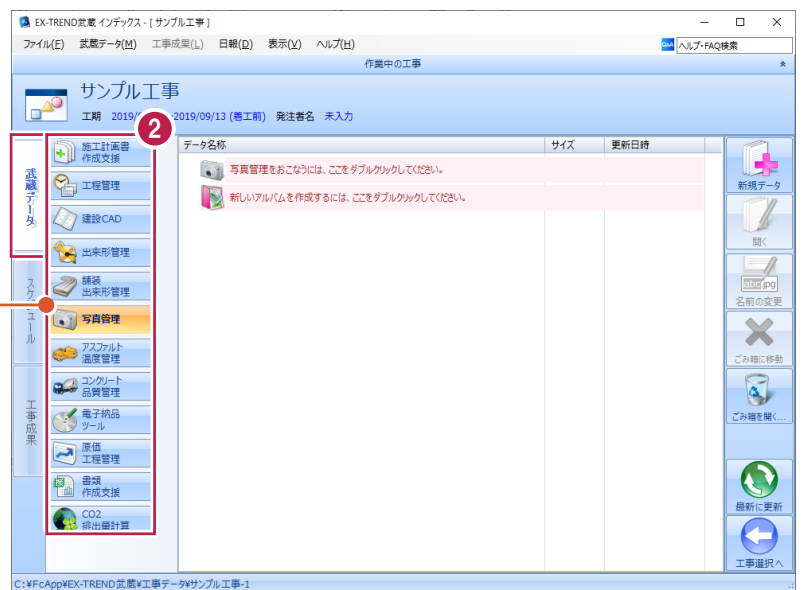
- 1 工事データをダブルクリックします。

工事データを選択して [作業開始] を
クリックしても開くことができます。



- 2 画面左側に、武蔵データの一覧が表示
されます。

未購入のプログラムについては、
進入禁止マーク  が表示されます。



- 3 画面右下の [工事選択へ] をクリックし、
工事一覧画面へ戻ります。



2-6 工事データのバックアップ/リストア

コンピュータも他の電化製品と同じように故障する場合があります。

また、ちょっとしたミスでデータを削除してしまうこともあるかもしれません。

バックアップとは、保存されている工事データ、および設定ファイルを別のメディア（HDD、CD、DVDなど）に保存することを言います。ご使用中のコンピュータ内のHDDなどにバックアップをおこなっても、それは本来の意味のバックアップとは言えません。

（CDやDVDには直接バックアップできませんので、いったんHDDの別の領域にバックアップしてから、ライティングソフトなどでコピーする必要があります。）

お客様が作られたデータは、お客様にとって大切な財産です。

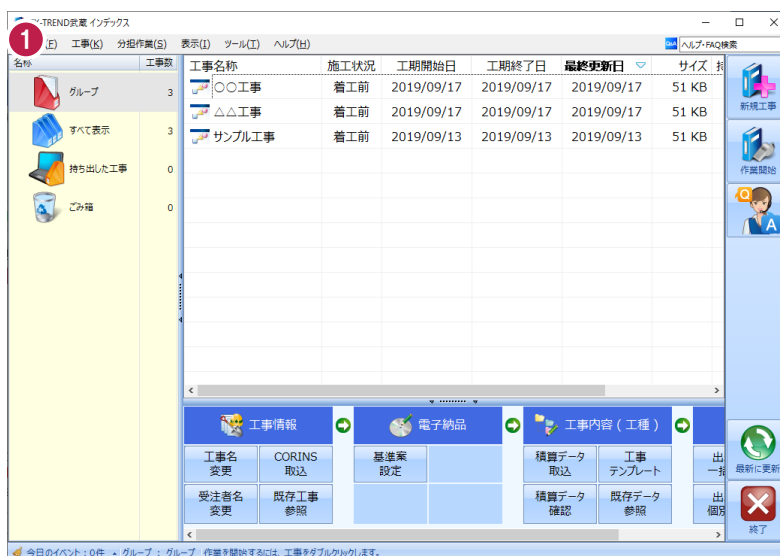
万が一の不慮の事故による被害を最小限にとどめるために、お客様ご自身の管理・責任において、データは必ず2か所以上の別のメディア（HDD、CD、DVDなど）に定期的にバックアップとして保存してください。

（※いかなる事由においても、データの破損などによるお客様の損害は、弊社では補償いたしかねますのでご了承ください。）

ここでは、インデックスで管理している工事データが複数ある場合に一括でバックアップをおこなう操作と、バックアップしたデータを戻す（リストア）操作を説明します。

■ 工事データをバックアップする

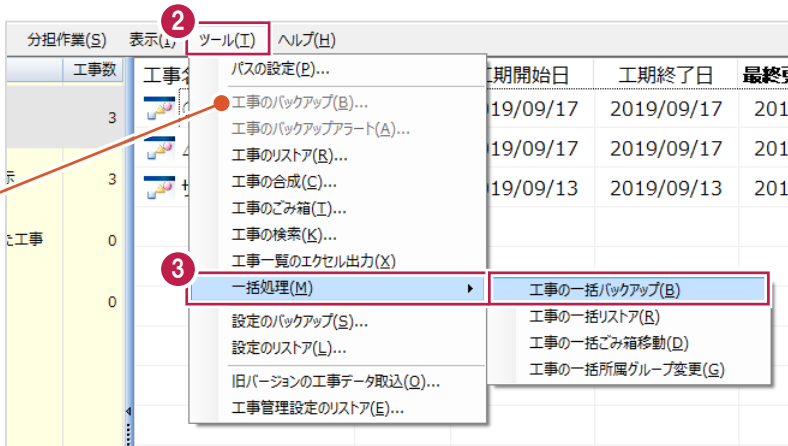
- 1 EX-TREND 武蔵の関連プログラムをすべて終了し、インデックスのみ起動します。



- 2 メニューバーの [ツール] をクリックします。

- 3 [一括処理] - [工事の一括バックアップ] をクリックします。

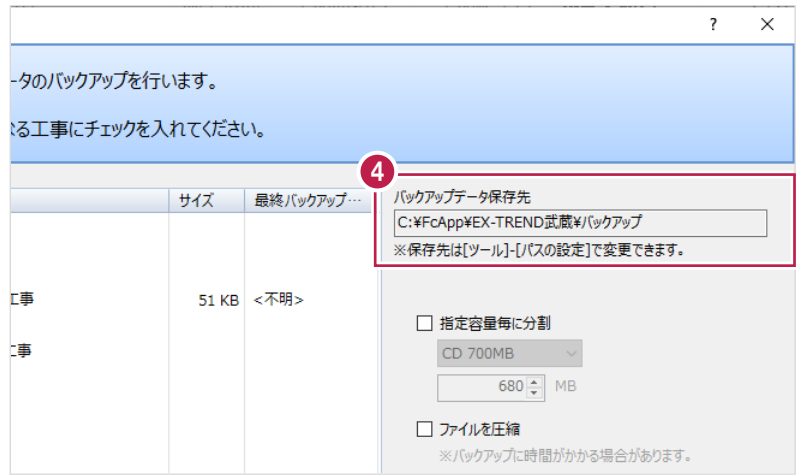
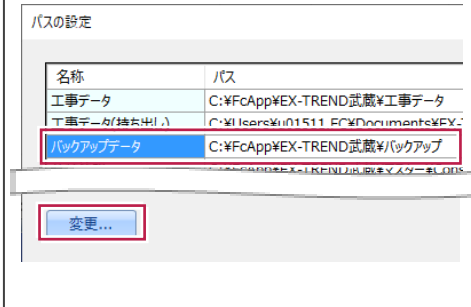
個別にバックアップする場合は、工事一覧で該当の工事を選択し、
[ツール] - [工事のバックアップ] を選択します。



4 [バックアップデータの保存先] を確認します。

保存先の変更

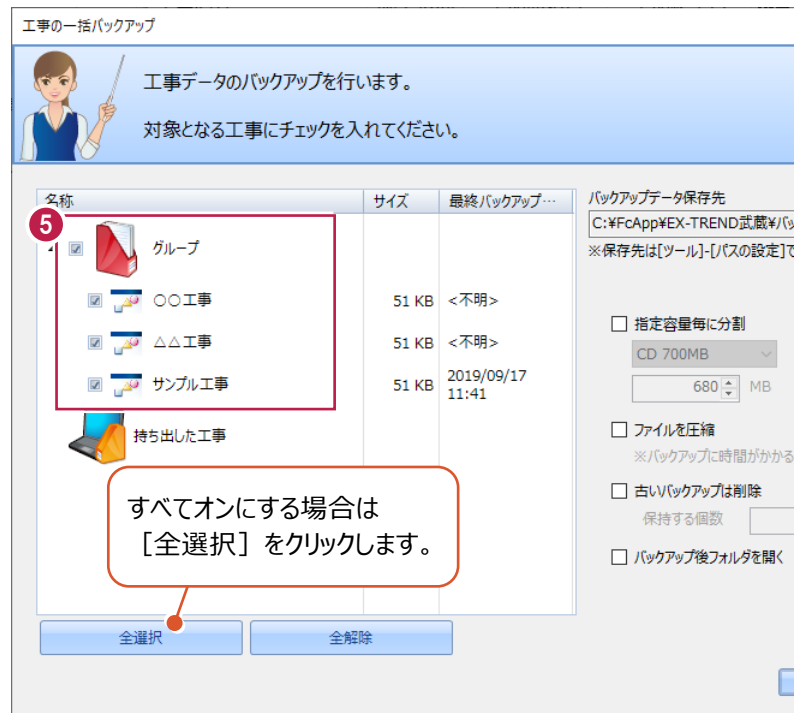
保存先を外付けのHDDなどにする場合は、工事の一括バックアップダイアログを [キャンセル] で閉じ、 [ツール] - [パスの設定] で [バックアップデータ] のパスを選択して [変更] をクリックしてください。



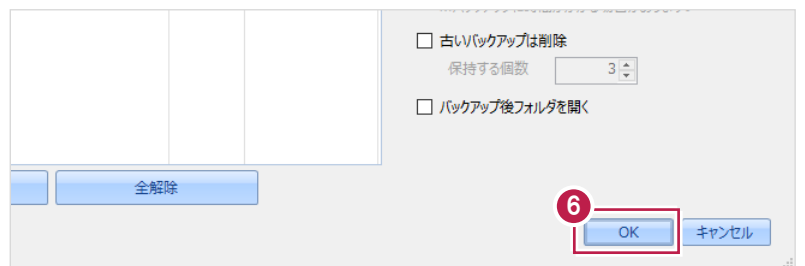
5 バックアップする工事データをオンにします。

バックアップ時の設定について

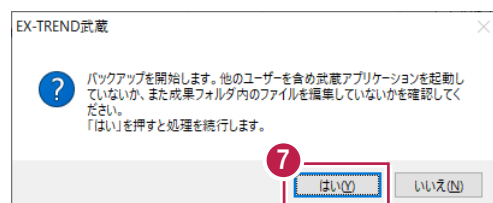
- [指定容量毎に分割] : CDなどのメディアの容量に合わせて、フォルダー分けしてバックアップデータを作成する場合に使用します。
- [ファイルを圧縮] : バックアップデータ量を圧縮して小さくする場合に使用します。(※写真データが多い場合は圧縮してもデータのサイズはあまり変わりません。)
- [古いバックアップは削除] : 同一フォルダー内に保管しておくバックアップ数を指定します。
- [バックアップ後フォルダを開く] : バックアップ完了後に保存先のフォルダーを自動的に開く場合はオンにします。



6 [OK] をクリックします。



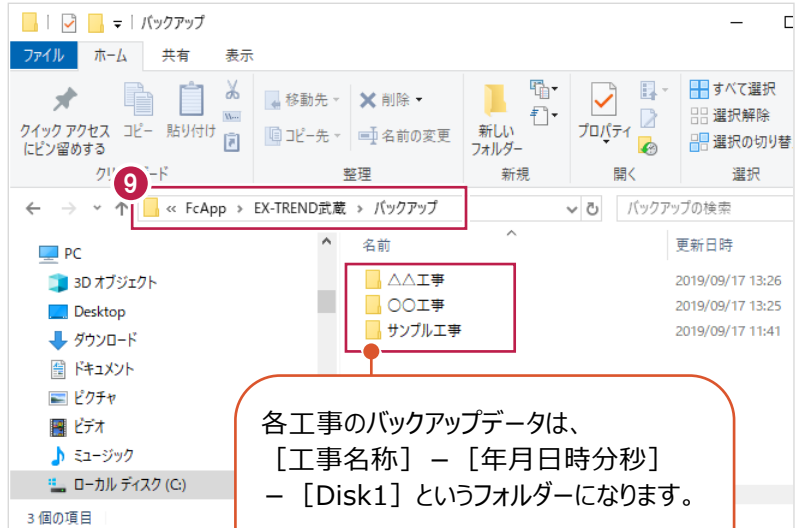
7 [[はい] をクリックします。



8 [OK] をクリックします。



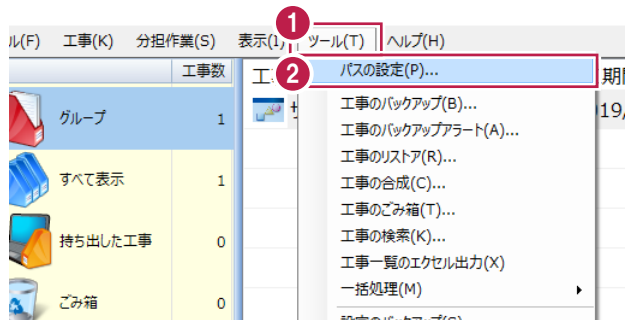
9 バックアップデータ保存先に、工事データが保存されます。



■ 工事データをリストア（復元）する

1 メニューバーの [ツール] をクリックします。

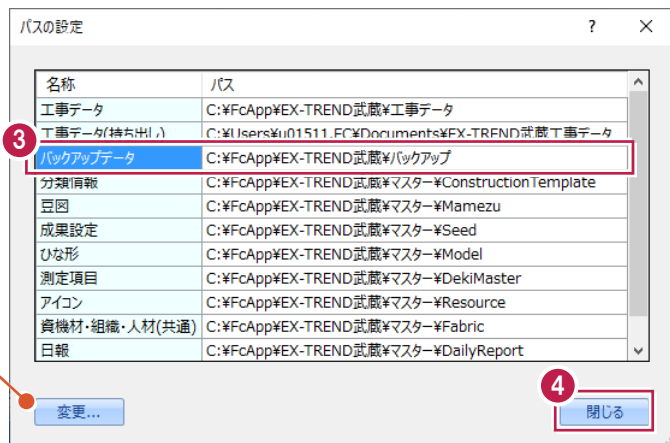
2 [パスの設定] をクリックします。



3 [バックアップデータ] のパスを確認します。
この場所に、リストアしたいバックアップデータを格納してください。

バックアップデータが、外付けHDDなどに保存されている場合は、
[バックアップデータ] を選択した状態で [変更] をクリックして、パスを変更してください。

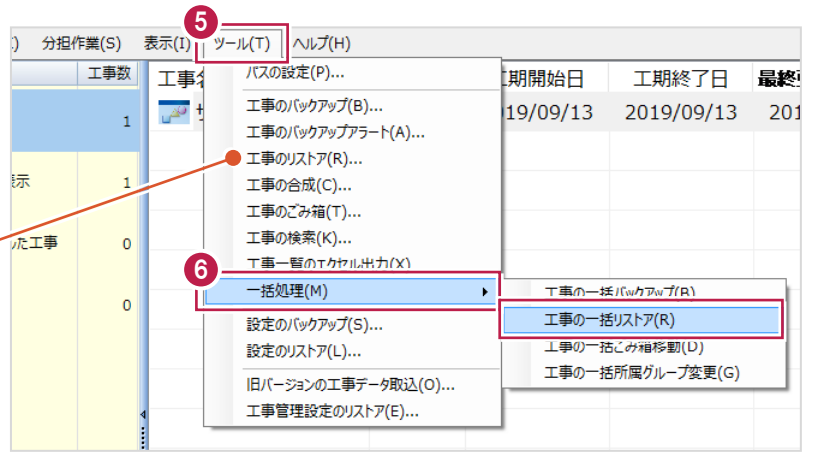
4 確認後、[閉じる] をクリックします。



5 メニューバーの [ツール] をクリックします。

6 [一括処理] - [工事の一括リストア] をクリックします。

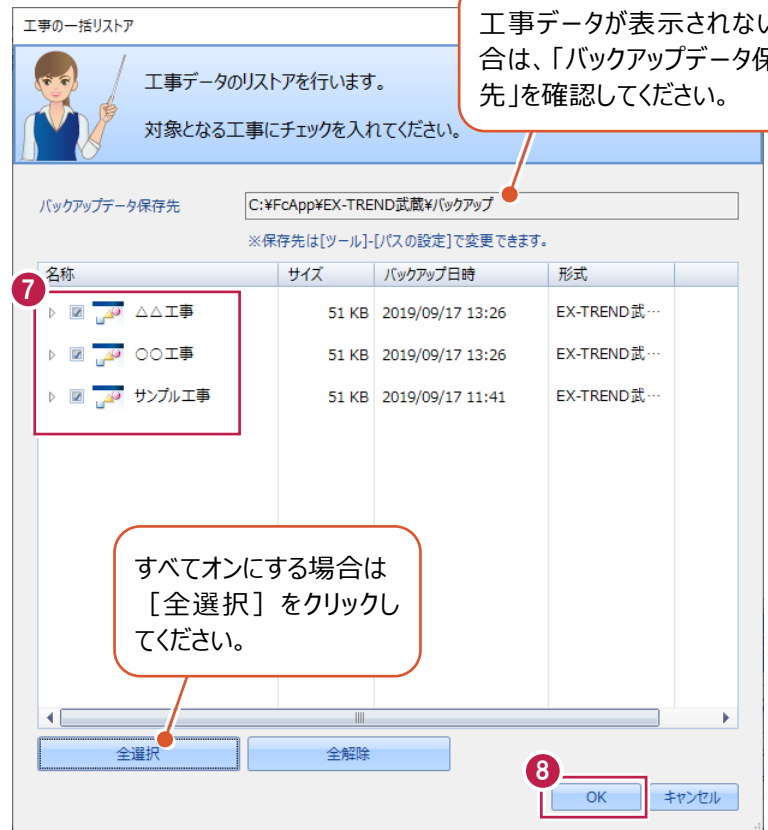
個別にリストアする場合は、工事一覧で該当の工事を選択し、
[ツール] - [工事のリストア] を選択します。（「Disk1」フォルダーを指定してください。）



7 取り込む工事データをオンにします。

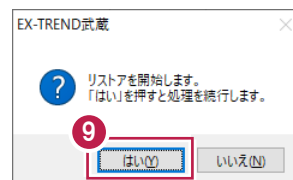
8 [OK] をクリックします。

工事データが表示されない場合は、「バックアップデータ保存先」を確認してください。



すべてオンにする場合は「全選択」をクリックしてください。

9 [はい] をクリックします。



10 [OK] をクリックします。



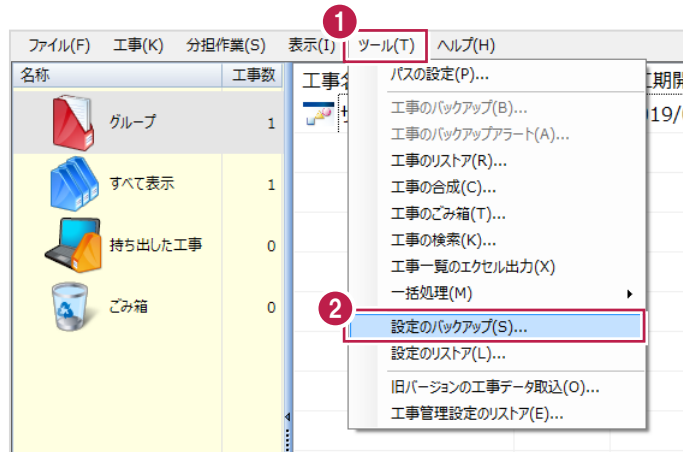
2-7 各種設定のバックアップ/リストア

ここでは、EX-TREND武蔵関連プログラムで使用する共通設定、辞書などをバックアップする操作、バックアップしたデータを戻す（リストア）操作を説明します。

■ 各種設定をバックアップする

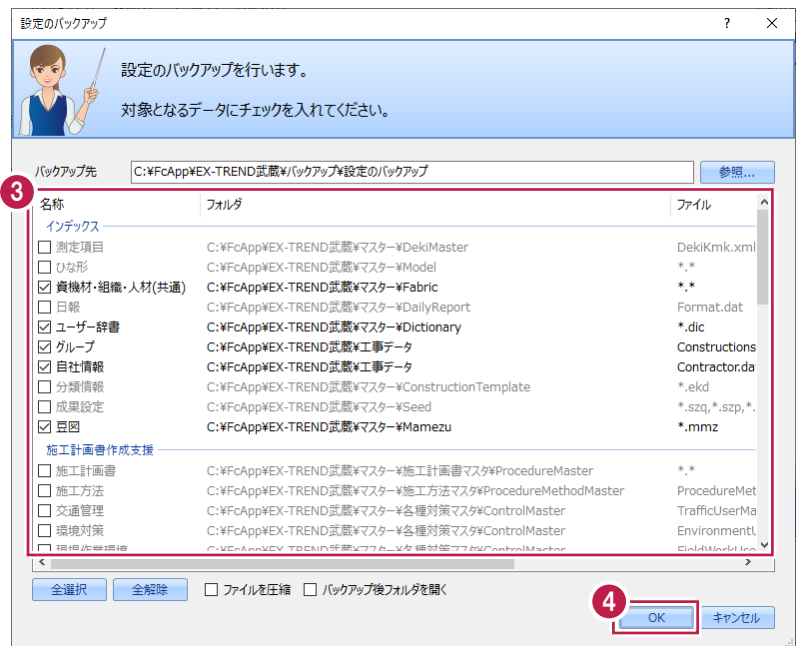
① メニューバーの [ツール] をクリックします。

② [設定のバックアップ] をクリックします。



③ バックアップする設定をオンにします。

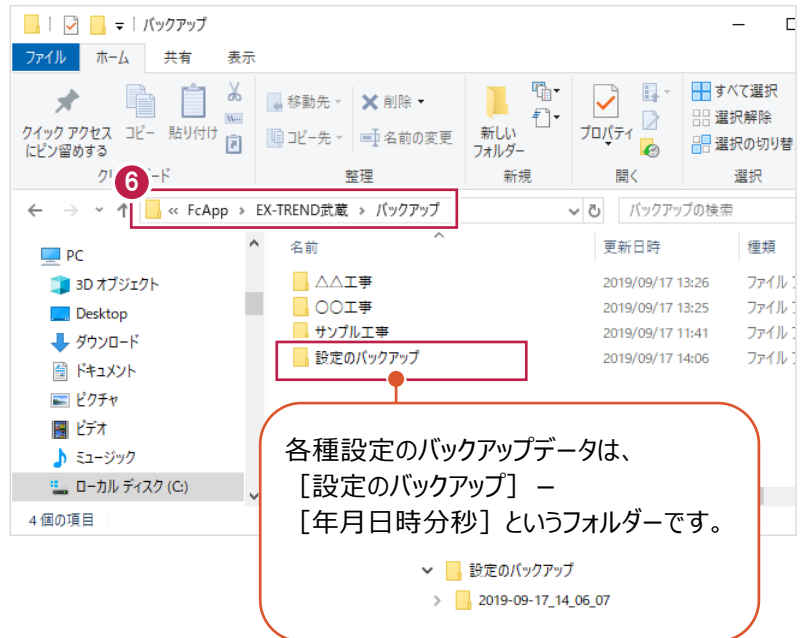
④ [OK] をクリックします。



⑤ [OK] をクリックします。

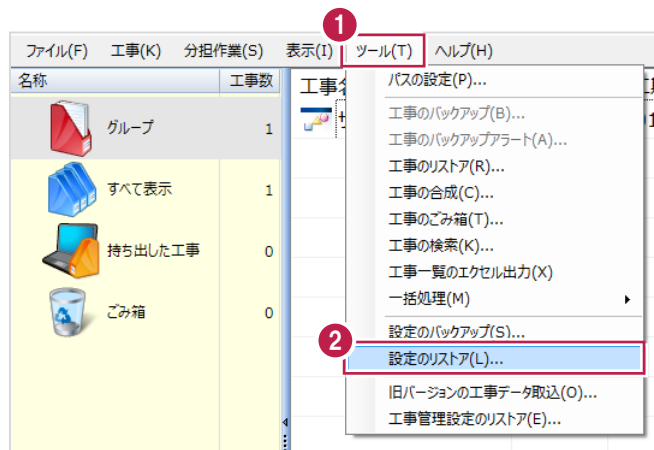


- ⑥ バックアップデータ保存先に、設定が保存されます。



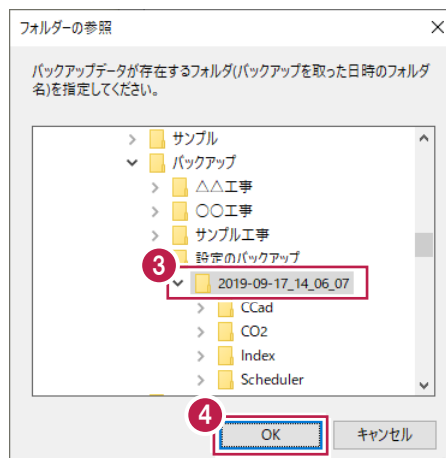
■ 各種設定をリストア（復元）する

- ① メニューバーの [ツール] をクリックします。



- ② [設定のリストア] をクリックします。

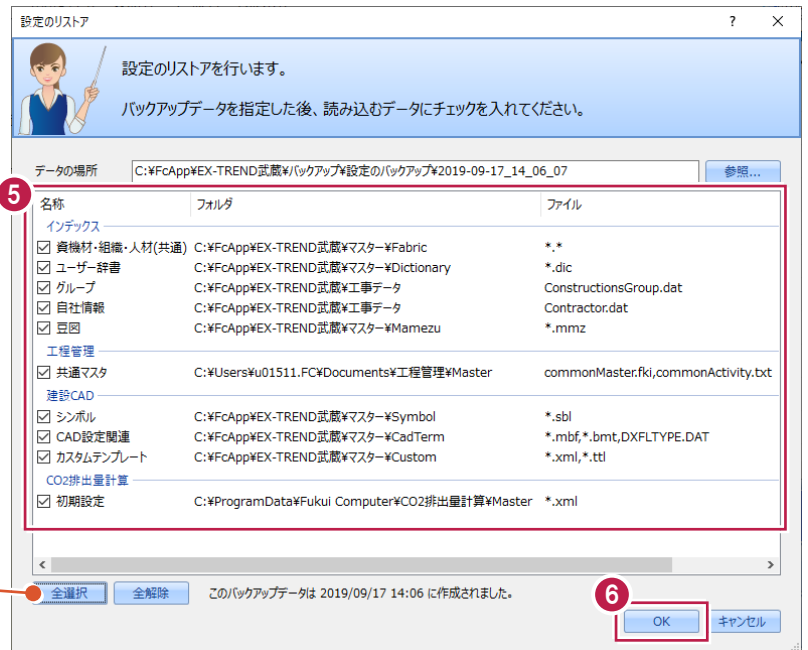
- ③ バックアップした設定があるフォルダーを指定します。



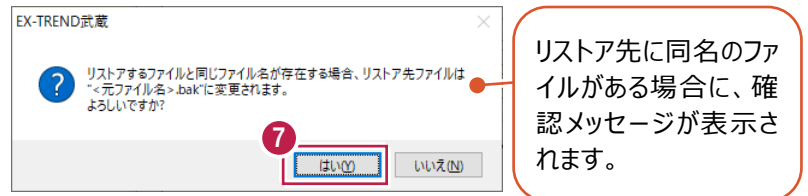
- ④ [OK] をクリックします。

5 取り込む設定をオンにします。

6 [OK] をクリックします。



7 [はい] をクリックします。



8 [OK] をクリックします。



3

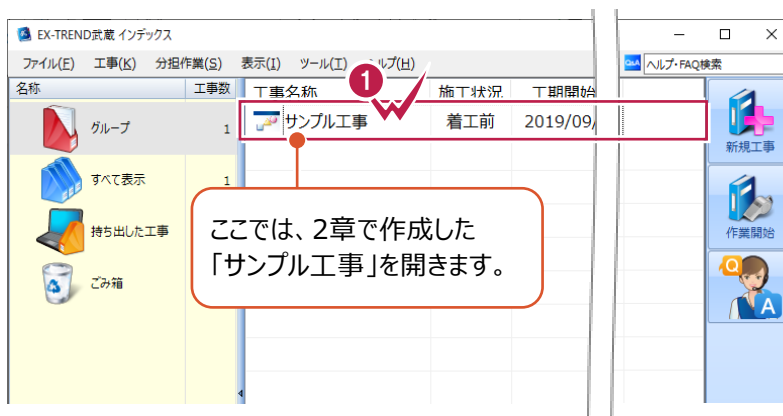
測定データの入力

「アスファルト温度管理」を起動して、測定データを入力する操作を説明します。

3-1 アスファルト温度管理の起動

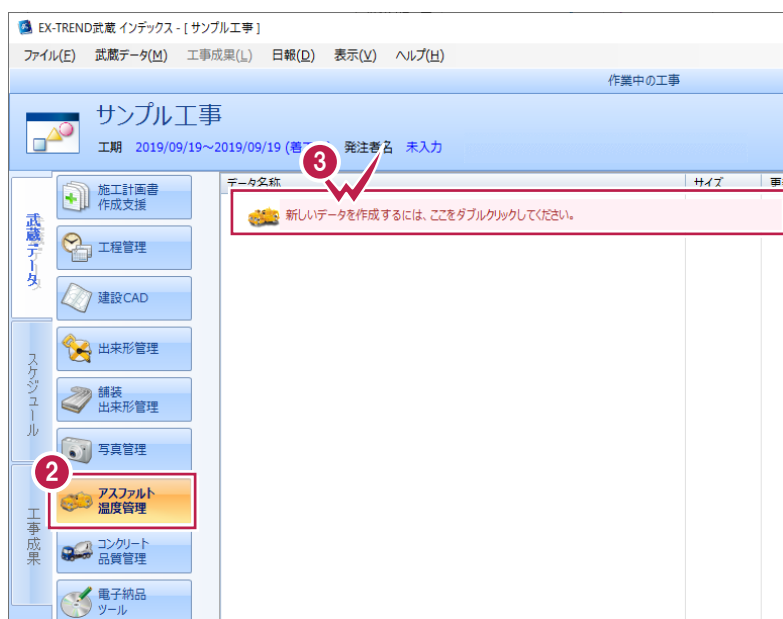
工事データを開き、アスファルト温度管理を起動します。

- 1 作業をおこなう工事データをダブルクリックします。



- 2 画面左側で「アスファルト温度管理」をクリックします。

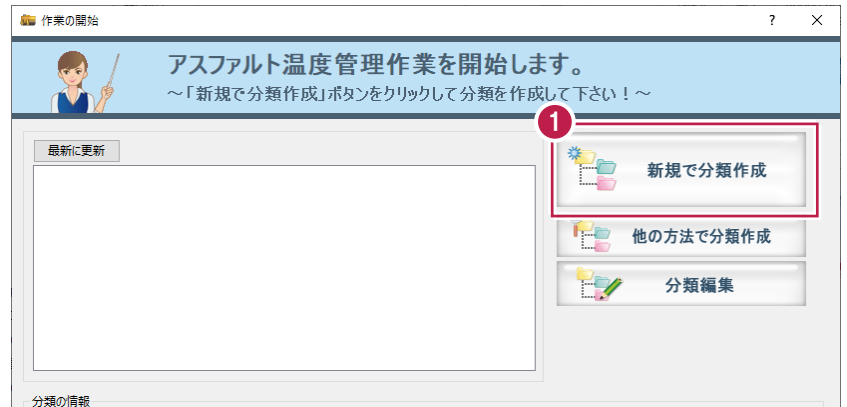
- 3 データ一覧の「新しいデータを作成するには、ここをダブルクリックしてください。」をダブルクリックします。



3-2 分類の追加

ここでは、工種名を「舗装工」として分類追加する手順を例に説明します。

- 1 [新規で分類作成] をクリックします。



- 2 [工種] [混合物の種類] [測定者] などをに入力します。

ここでは、以下のようにに入力します。

[工種] : 舗装工
[混合物の種類] : 細密粒度アスコン
[測定者] : 現場一郎

- 3 [OK] ををクリックします。



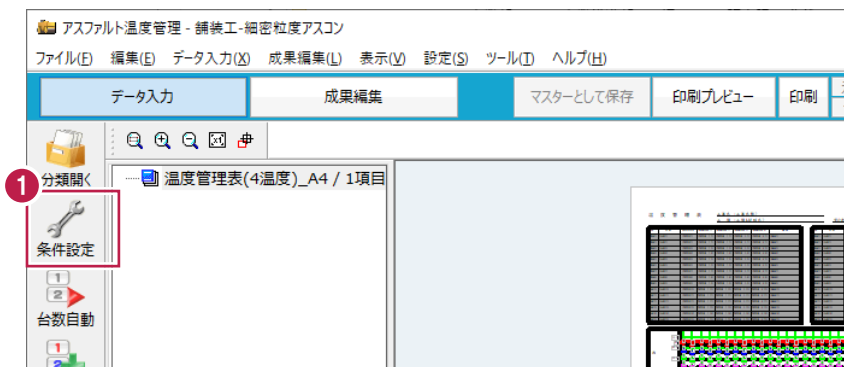
- 4 [作業開始] ををクリックします。



3-3 測定項目の条件確認

ここでは、各温度の名称や上限・下限値、入力温度の桁数を確認します。

- 1 [条件設定] をクリックします。



- 2 管理温度の名称、上・下限値などの各設定をおこないます。

- 3 設定・確認後、[OK] をクリックします。

[名称] [上限値] [下限値] は手入力が可能です。



各設定項目について

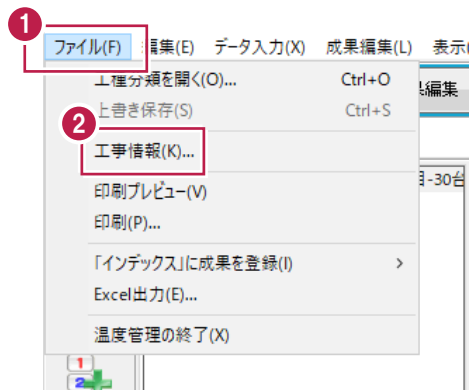
各温度の名称は入力セルのタイトルに、上・下限値は帳票内のグラフ上に、桁数は温度の入力セルにそれぞれ連動します。

工事情報の入力について

各部に連動する工事情報の入力は【ファイル】 - 【工事情報】でおこないます。
どの時点でも入力することができます。

1 メニューバーの【ファイル】をクリックします。

2 【工事情報】をクリックします。



3 工事情報を設定します。

4 設定後、【OK】をクリックします。

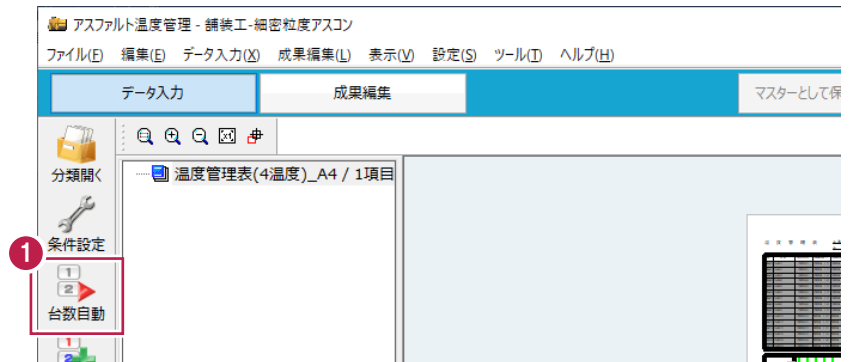
The image shows a dialog box titled '工事情報' with tabs for '工事情報', '工種情報', 'ユーザー情報', and '変更履歴'. The '工事情報' tab is active. Fields include: 工事名称 (サンプル工事), 発注年度 (西暦) (2019), 工事番号 (123456789), 工事箇所 (〇〇県〇〇市〇〇番地), 河川路線名等 (国道〇号), 工期開始・終了日 (2019年 9月19日 ~ 2020年 2月18日), 請負金額 (0 円), and 工事内容. Below are sections for '受注者情報' (recipient) and '発注者情報' (issuer) with dropdown menus for names and roles. At the bottom, there are buttons for 'CORINS参照...', '他工事参照...', 'OK' (highlighted with a red box and number 4), and 'キャンセル'.

3-4 台数の作成

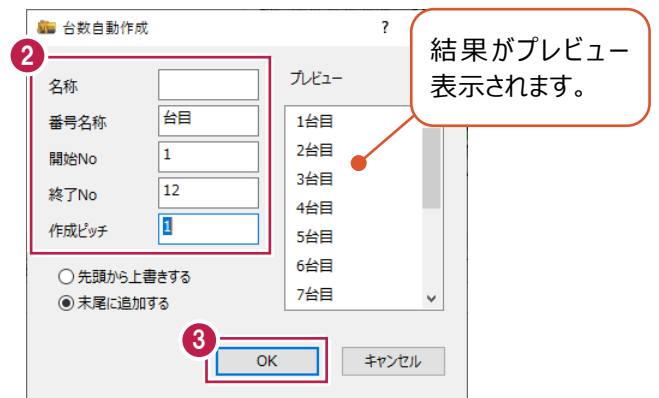
測定項目にダンプの台数を作成します。

操作例では「台数自動」から一括作成をおこないます。個々に台数を作成する場合は「台数追加」からおこないます。

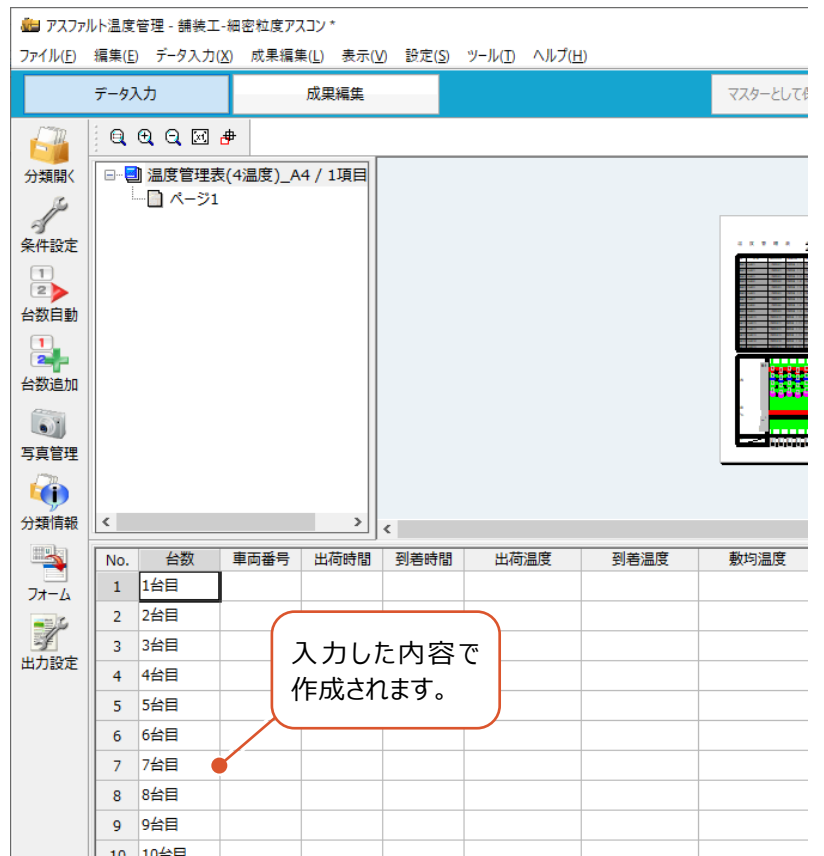
- 1 「台数自動」をクリックします。



- 2 「開始 No」 「終了 No」を設定します。
ここでは、それぞれ「1」「12」(12台)と設定します。



- 3 「OK」をクリックします。



成果イメージの確認

画面左のツリーでページ番号を選択すると、成果内容を確認することができます。

温度管理表

No.	台数	測定年月日	出荷温度	到着温度	備考
1	1台目				
2	2台目				
3	3台目				
4	4台目				
5	5台目				
6	6台目				

右クリック

- OK(O)
- キャンセル(C)
- 拡大(I)
- 原図(Z)
- 画面移動(G)
- 元に戻す(U)
- ピクモード(P) >
- 選択モード(S) >
- 移動(M)
- 削除(D)
- 複写(A)
- 訂正(T)...

ページ番号をクリックすると成果内容を確認することができます。

右クリックで表示される各コマンドでプレビュー表示の拡大や移動などをおこなうことができます。

社内規格値外: [緑] 上下限値外: [赤]

3-5 測定項目の入力

設定した台数に対して測点名、測定日、各温度を入力します。

No.	台数	測定年月日	出荷温度	到着温度	数均温度	初期転圧温度	備考
1	1台目	1/6/3	178	163	132	124	
2	2台目	1/6/3	179	168	133	128	
3	3台目	1/6/3	174	169	138	125	
4	4台目	1/6/3	178	168	138	123	
5	5台目	1/6/3	173	168	138	123	
6	6台目	1/6/3	176	162	134	125	
7	7台目	1/6/3	175	169	134	121	
8	8台目	1/6/3	179	161	134	122	

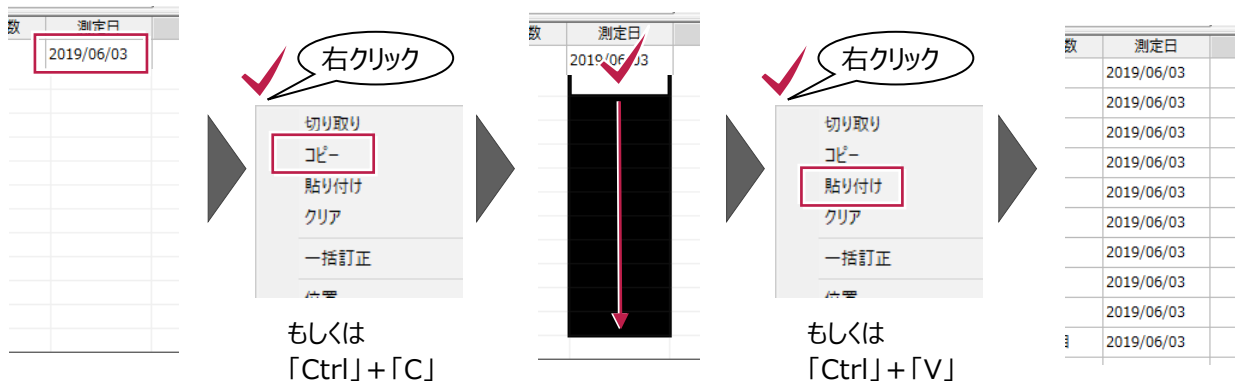
No.	台数	測定日	出荷温度	到着温度	数均温度	初期転圧温度	2次転圧温度	開放温度	数量
1	1台目	2019/06/03	178	163	132	124			
2	2台目	2019/06/03	179	168	133	128			
3	3台目	2019/06/03	174	169	138	125			
4	4台目	2019/06/03	178	168	138	123			
5	5台目	2019/06/03	173	168	138	123			
6	6台目	2019/06/03	176	162	134	125			
7	7台目	2019/06/03	175	169	134	121			
8	8台目	2019/06/03	179	161	134	122			
9	9台目	2019/06/03	174	166	137	123			
10	10台目	2019/06/03	172	168	134	125			
11	11台目	2019/06/03	179	168	131	124			
12	12台目	2019/06/03	172	168	131	122			

社内規格値外：[緑] 上下限値外：[赤]

入力温度が折れ線グラフで表示されます。
 選択している測定温度セルの上限値、下限値が赤線で表示されます。
 また、このグラフ領域内で右クリックして「グラフ設定」をクリックすると、
 「グラフ設定」ダイアログが表示されます。
 「グラフを使って入力」をオンにすると、グラフを直接指定して「測定温度」
 を変更することもできます。

セル上の操作について

測定日など、同じ値を複数入力する場合は、複写すると効率的に入力することができます。
 入力済みのセルを選択後、右クリックで表示されるコマンド（もしくはキーボード操作）から複写をおこないます。



入力セルの表示項目について

表示項目は変更・並べ替えをおこなうことができます。

入力不要な項目があったり、並び順がみづらい場合などに変更してください。

セル上で右クリックして、[項目変更] - [セル項目変更] をクリックし、入力しやすい表示に設定してください。

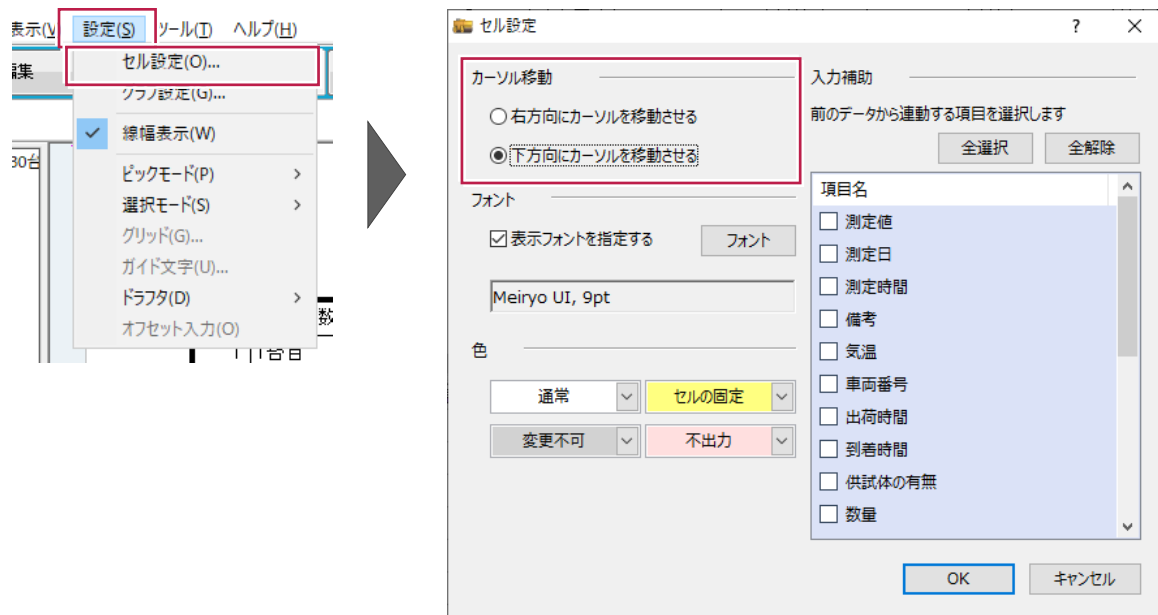
[項目の変更] ダイアログ内のチェックがオンになっている項目が表示されます。

また、ダイアログの項目の並び順で、入力セルの左側から順に表示されます。



入力時の Enter キーによるカーソル移動について

[設定] - [セル設定] で、Enterキーを押したときにカーソルを右方向に移動するのか、下方向に移動するのかを設定することができます。



写真を確認しながら入力するには

画面左の [写真管理] をクリックすると、写真管理にある写真を確認しながら入力することができます。

選択した写真が拡大表示されます。

【測定者】の入力について

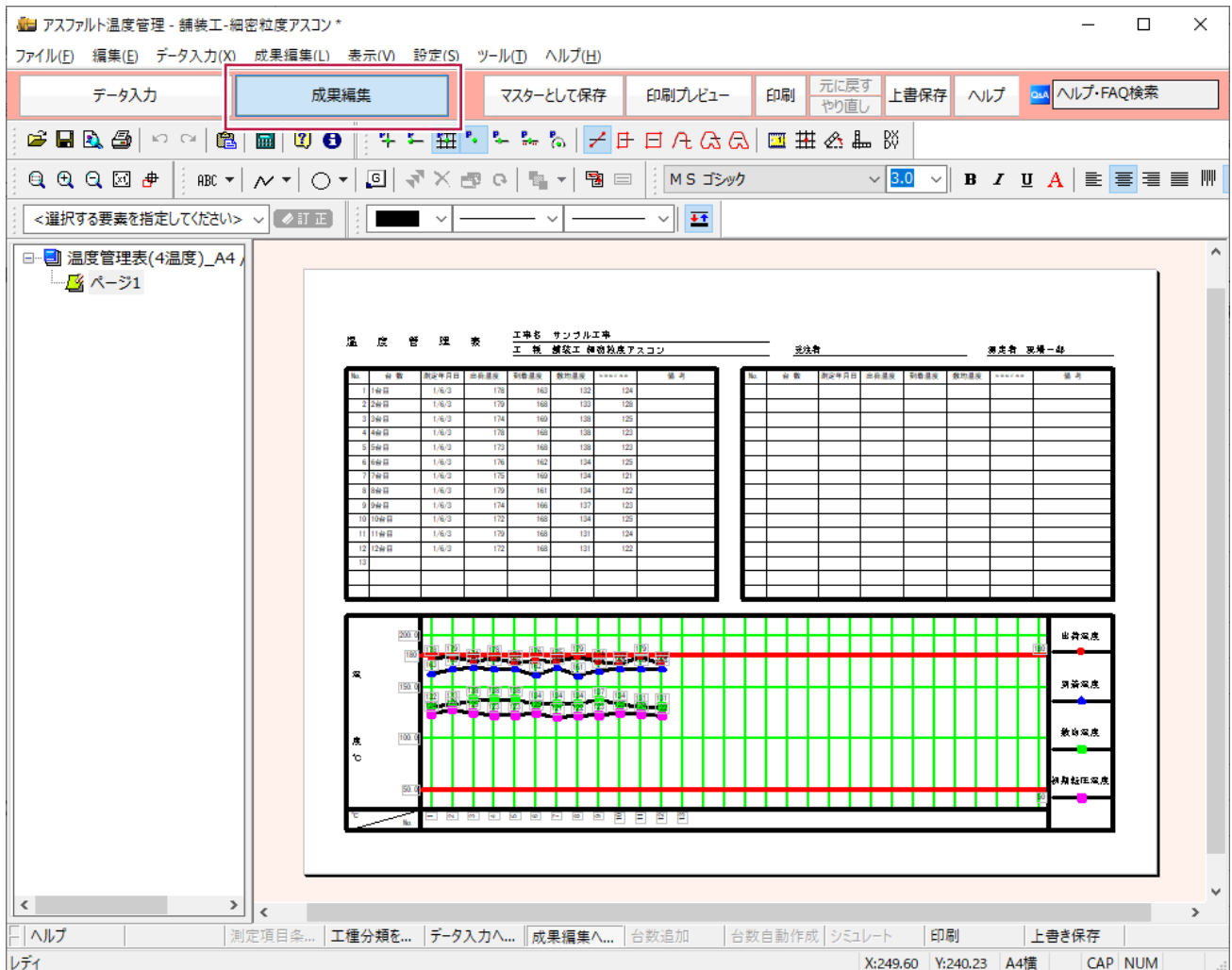
測定者は、画面左の [分類情報] で入力します。

測定者 現場一郎		
温度	初期乾圧温度	備考
1	1台目	
2	2台目	

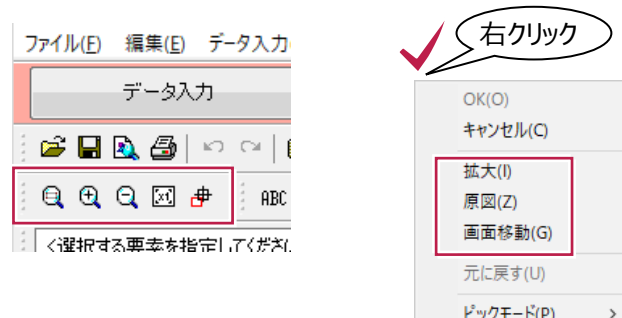
4

成果の確認・編集

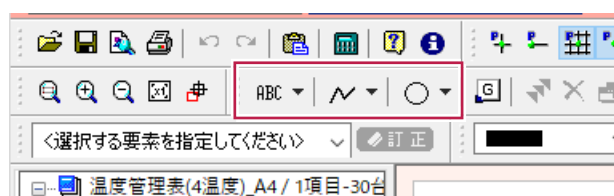
グラフ内の色変更や任意の文字・線などの入力は「成果編集」ステージでおこないます。
画面左上の「成果編集」をクリックして「成果編集」ステージに切り替えます。



フォームの表示の拡大・縮小は、ツールバーのコマンドや、フォーム表示領域内で右クリックして表示される各コマンドでおこなうことができます。



ツールバーのコマンドで、任意の位置に文字や線を入力することもできます。
下記アイコンの左から順に「文字」、「線」、「円」を入力することができます。



訂正する文字をダブルクリックすると訂正画面が表示されます。

[直接入力する] をオンにすると直接訂正することができます。



データボックスの書式設定

入力文字 配置 フォント・背景 罫線

文字列

直接入力する

初期転圧温度

出力する文字列を直接入力してください。
※Excel出力では、以下のデータが出力されます。

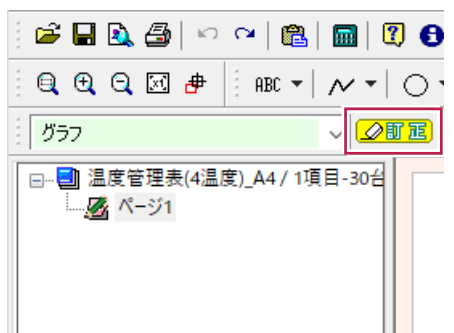
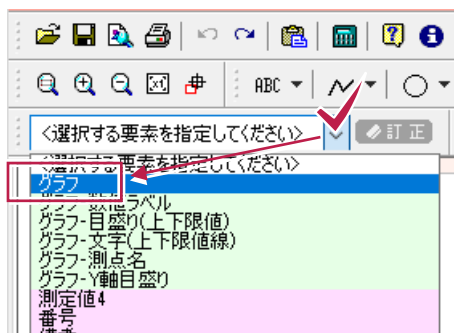
[Excel出力されるデータ]
初期転圧温度

OK キャンセル

グラフの編集について

各グラフ線の色、目盛り線の表示・非表示は [グラフの書式設定] で設定することができます。

[グラフの書式設定] はツールバーの [選択する要素を指定してください] で「グラフ」を選択して、[訂正] をクリックすると表示することができます。



グラフの書式設定

温度全体 出荷温度 到着温度 数均温度 初期転圧温度 2次転圧温度 開放温度 基本設定

配置・線・文字・許容範囲塗潰し設定

配置する

配置	線名称
<input type="radio"/>	上下限值線

線

線種

色

太さ

文字

文字配置 位置 後

上限文字 下限文字

末尾に値を表示する

許容範囲塗潰し

塗りつぶす

全体 データ範囲 色

数値・吹き出し

プロット点の数値を表示する

最大・最小プロット点に吹き出しを表示する

上下限值を表示する

OK キャンセル

5

成果の印刷

作成した成果を印刷します。

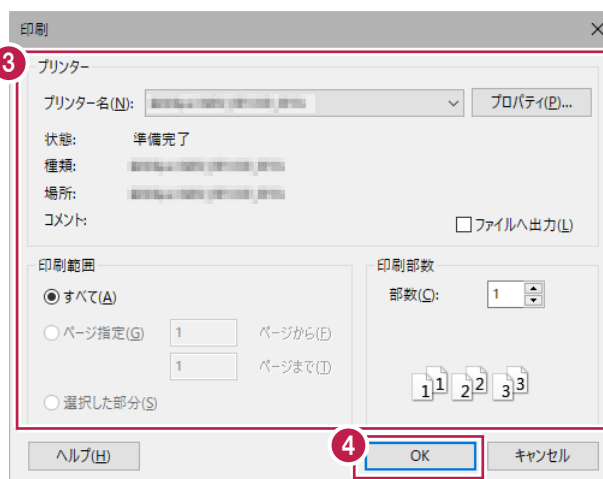
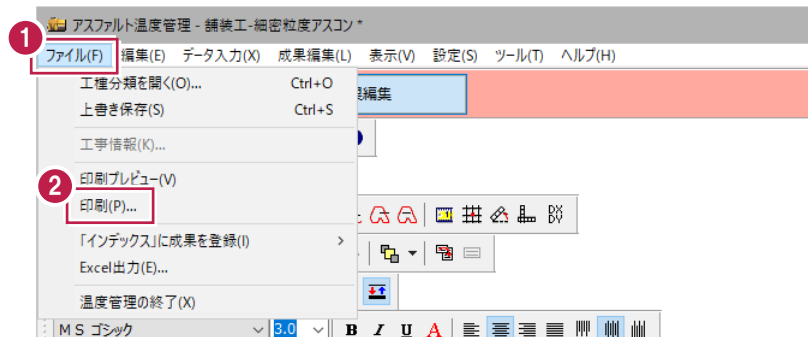
印刷の実行は [データ入力] と [成果編集] のどちらのステージでも可能です。

1 メニューバーの [ファイル] をクリックします。

2 [印刷] をクリックします。

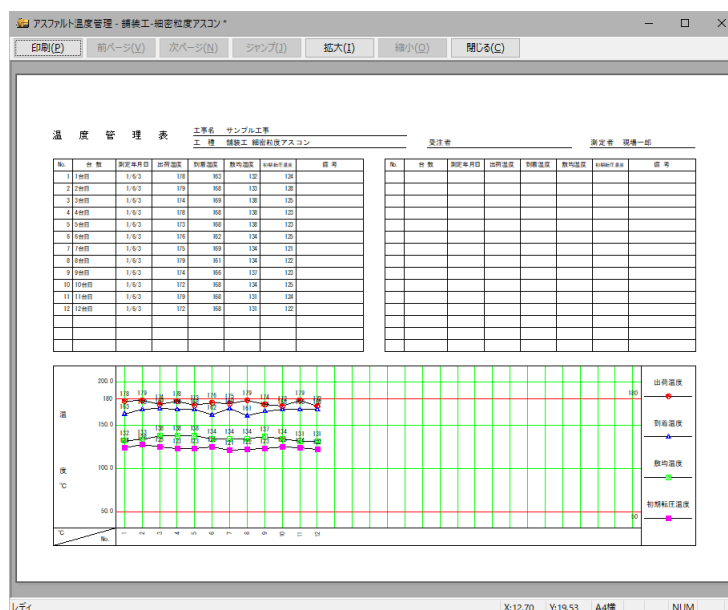
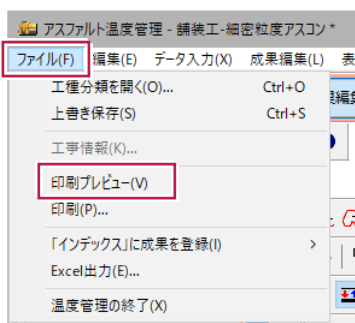
3 使用するプリンターや印刷範囲、部数などを設定します。

4 [OK] をクリックします



印刷プレビューについて

印刷前に [印刷プレビュー] で印刷イメージを確認すると、より正確に印刷をおこなうことができます。



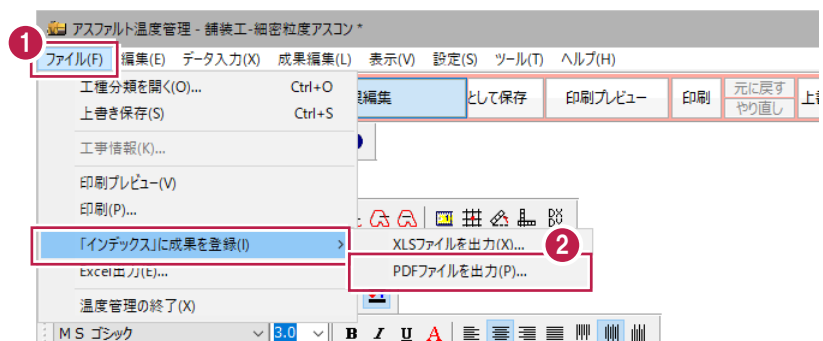
6

インデックスへの成果登録

作成した成果をPDFファイルでインデックスに登録します。

① メニューバーの「ファイル」をクリックします。

② 「[インデックス]に成果を登録」 – 「PDF ファイルを出力」 をクリックします。



③ 「出力設定」 をクリックします。



④ 出力するフォーム、温度の出力順などを設定
します。

⑤ [OK] をクリックします。

出力設定

設定するフォーム
温度管理表(4温度)_A4 / 1項目-30台

温度の出力順

No.	管理温度名称
温度1	出荷温度
温度2	到着温度
温度3	数均温度
温度4	初期転圧温度
温度5	2次転圧温度
温度6	開放温度

台数

No.	台数	作成
1	1台目	○
2	2台目	○
3	3台目	○
4	4台目	○
5	5台目	○
6	6台目	○
7	7台目	○
8	8台目	○

上下限值内合否判定

判定対象 上下限值

合: 合

否: 否

範囲外の測定値の色付きで表示する
※上下限值外: [赤]
(OFFの場合は成果編集での文字色で表示する)

すべてのフォームに共通の設定

日付形式

工事情報 (既定値を使用)

測点データ (既定値を使用)

OK キャンセル

⑥ [OK] をクリックします。

「インデックス」へ出力

プリンタ

プリンタ名

出力範囲

すべて

ページ指定 1 ページから 1 ページまで

フォーム指定

No.	作成
1 温度管理表(4温度)_A4	○

出力設定 OK キャンセル

成果の登録について

インデックスの [成果フォルダ] の [品質管理資料] - [アスファルト温度管理] に登録されます。

7

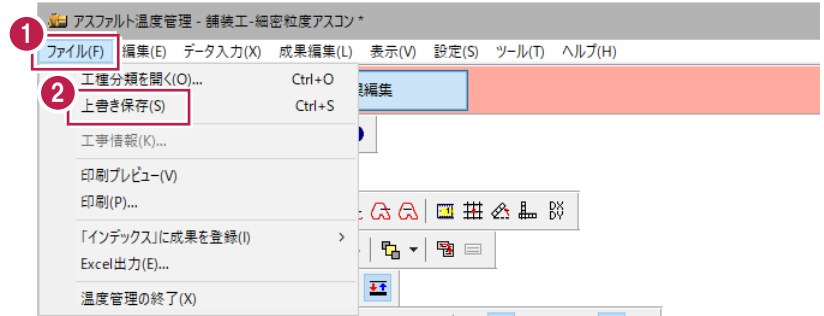
工事データの保存

こまめに保存することで、不慮の事故によってシステムダウンした場合に影響が少なく済みます。
各プログラムでデータを入力・変更したときは、各プログラムを終了するたびに保存することをお勧めします。

7-1 工事データの保存

工事データを保存します。

- 1 メニューバーの「ファイル」をクリックします。
- 2 「上書き保存」をクリックします。



7-2 アスファルト温度管理の終了

アスファルト温度管理を終了します。

- 1 メニューバーの「ファイル」をクリックします。
- 2 「温度管理の終了」をクリックします。



データを開く方法について

保存したデータは、【インデックス】起動後、保存したデータ名称をダブルクリックすることで開くことができます。

